実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	公益財団法人日本バスケットボール協会
事業細目名	タレント発掘・一貫指導事業
事業名	アンダーカテゴリー日本代表強化
助成金額	135,183,000 円

令和８年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成（タレント発掘・一貫指導育成事業）を活用し、公益財団法人日本バスケットボール協会が行っている「アンダーカテゴリー日本代表強化」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、令和８年４月１日から令和９年３月 31 日の期間において、ナショナル育成センター・ジュニアユースアカデミー等によって発掘された U16・U17・U18・U19・U23 の年代別日本代表候補選手を対象に代表強化プログラムを実施し、トップレベルへの適応及び世界大会に対応することを目的とした活動に対して支援を行うものです。

今回の調査は、「3x3 男子 U23 日本代表第 2 次合宿_ネーションズリーグ直前合宿」を対象に実施しました。

■助成の意義

本助成により、事業実施に必要な日数や参加選手、スタッフなどの人員を十分に確保することができたそうです。また、年代別のカテゴリーごとに合宿を実施することで、幅広い年代の選手育成が可能となり、効果的かつ有意義な活動を展開できたと伺いました。

さらに 3x3 では、日本代表選手とU23 選手による合同合宿を実施できたことで、若手選手にとって高いレベルのプレーや競技に対する姿勢を学ぶ機会となり、新たな気づきや成長にもつながったとされています。また、年間 5 回の継続的な合宿を実施することにより、競技力の向上やチーム強化にも大きく寄与しているとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

毎年、デベロップメントキャンプを強化活動の起点として位置づけ、優秀な選手を多数招集しているそうです。 キャンプ終了後も、継続的に育成・強化合宿を実施し、一貫した育成体制の構築に努めているとのことでした。

各合宿の冒頭では、ヘッドコーチ主導によるミーティングを実施し、2028 年ロサンゼルスオリンピック及び 2032 年ブリスベンオリンピック、その先を見据えた中長期的な強化方針について説明を行って、合宿の目的や位置づけを選手間で共有することで、強化活動に対する理解促進と意識の統一を図っているとのことでした。

■その他

令和８年８月 10 日から 16 日まで中国・滄州で開催される「FIBA 3x3 ユース・ネイションズリーグ 2026 -U23 アジアセントラル／イースト-」に出場予定とのことです。本事業を通じて育成・強化されてきた選手たちが、国際舞台で経験を積む貴重な機会となることが期待されます。

大会の様子は、FIBA 公式 YouTube チャンネルの FIBA3x3 - The 3x3 Basketball Channel で全試合がライブ配信及びアーカイブ（見逃し）配信される予定のようです。

■所感

調査時には、選手同士が積極的にコミュニケーションを図りながら練習に取組む様子が見受けられました。３X3 ではルール上、コート入場後はコーチから直接指示を出すことができないため、選手自身がゲーム展開や戦略を主体的に考える必要があるそうです。また、控え選手もコーチングの視点も持ちながら仲間に声を掛け、チーム全体で試合を進めていく競技特性があるとのことでした。

さらに、この後に控えている大会で上位入賞を果たすと U23 ワールドカップへの出場権を獲得できることから、選手たちは動きや連携方法を入念に確認しながら練習に励まれており、大会に向けた高い意欲と真剣な姿勢が感じられました。

日本バスケットボール協会は、5 人制だけでなく、3x3 に特化した選手の発掘・育成にも継続的に取り組み、各々の競技特性に応じた育成環境の整備が進められている様子がうかがえました。

今後も、アンダーカテゴリー世代の選手の発掘・育成を通じて、将来の日本代表チームの競技力の向上につながることを期待しています。

（令和８年８月６日往査）

（写真）合宿の様子



